



# 平成27年3月期第3四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

平成27年2月3日

上場会社名 **小野薬品工業株式会社** 上場取引所 東  
 コード番号 4528 URL <http://www.ono.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 相良 暁  
 問合せ先責任者 (役職名) 広報部長 (氏名) 谷 幸雄 (TEL) (06)6263-5670  
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

## 1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績 (平成26年4月1日～平成26年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	107,267	△3.7	16,474	△35.6	19,799	△31.0	15,825	△21.0	15,708	△21.0	31,258	△1.8
26年3月期第3四半期	111,424	—	25,590	—	28,715	—	20,033	—	19,883	—	31,835	—
	基本的1株当たり 四半期利益		希薄化後1株当たり 四半期利益									
	円 銭		円 銭									
27年3月期第3四半期	148.17		—									
26年3月期第3四半期	187.55		—									

(注)1. 当社グループは、平成26年3月31日に終了する連結会計年度からIFRSを適用しております。従って、平成26年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率は記載していません。

(注)2. 平成26年3月期第3四半期の各財務数値は、会計方針の一部変更に伴い遡及修正を行っております。詳細は5ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更」をご覧ください。

### (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	505,630	463,873	459,370	90.9
26年3月期	486,141	451,724	447,327	92.0

(注)平成26年3月期の各財務数値は、会計方針の一部変更に伴い遡及修正を行っております。詳細は5ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更」をご覧ください。

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	90.00	—	90.00	180.00
27年3月期	—	90.00	—		
27年3月期(予想)				90.00	180.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成27年3月期の連結業績予想 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当たり 当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭	
通期	137,000	△4.4	15,100	△42.9	17,700	△39.9	12,200	△40.6	12,000	△41.0	113.20

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 有  
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	117,847,500株	26年3月期	117,847,500株
27年3月期3Q	11,838,883株	26年3月期	11,836,546株
27年3月期3Q	106,010,047株	26年3月期3Q	106,015,133株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

●この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

●本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により、大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	5
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更 .....	5
3. 要約四半期連結財務諸表 .....	6
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	6
(2) 要約四半期連結損益計算書 .....	8
(3) 要約四半期連結包括利益計算書 .....	9
(4) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	10
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(報告企業) .....	12
(要約四半期連結財務諸表の基礎) .....	12
(重要な会計方針) .....	12
(重要な会計上の見積りおよび見積りを伴う判断) .....	12
(セグメント情報) .....	13
(配当) .....	14
(1株当たり利益) .....	14
(後発事象) .....	14
(継続企業の前提に関する注記) .....	14
4. 補足情報 .....	15
(1) 主な製品の売上収益の実績と予想 .....	15
(2) 開発品(ON0-4538を除く)の主な進捗状況 .....	16
(3) 開発品(ON0-4538)の主な進捗状況 .....	18

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期（2014年4月～12月）における業績につきましては、以下のとおりとなりました。

(単位：百万円)

	2014年3月期 第3四半期連結累計期間	2015年3月期 第3四半期連結累計期間	増減額	増減率
売上収益	111,424	107,267	△4,157	△3.7%
営業利益	25,590	16,474	△9,115	△35.6%
税引前四半期利益	28,715	19,799	△8,916	△31.0%
四半期利益 (親会社の所有者帰属)	19,883	15,708	△4,176	△21.0%

## [売上収益]

売上収益は前年同期比42億円（3.7%）減少の1,073億円となりました。

- ・講演研究会、説明会など、引き続き積極的な情報提供活動を進めましたが、薬価改定の影響や後発品使用促進策の浸透による影響を受け長期収載品の売上が低迷し、また主要新製品の一部では競合品との競争が激化しています。
- ・主要新製品では、2型糖尿病治療剤「グラクティブ錠」は248億円（前年同期比 13.9%減）、骨粗鬆症治療剤「リカルボン錠」は79億円（同比 3.2%減）、抗悪性腫瘍剤投与に伴う悪心・嘔吐治療剤「イメンドカプセル」、「プロイメンド点滴静注用」は合わせて67億円（同比 横ばい）、アルツハイマー型認知症治療剤「リバスタッチパッチ」は52億円（同比 10.5%増）となりました。  
なお、一昨年8月発売の関節リウマチ治療剤「オレンシア皮下注」は29億円（前年同期比 681.0%増）、昨年5月に発売しました2型糖尿病治療剤「フォシーガ錠」は13億円、9月に抗PD-1抗体として世界に先駆けて発売しました抗悪性腫瘍剤「オブジーボ点滴静注」は15億円となりました。
- ・主な長期収載品では、末梢循環障害改善剤「オパルモン錠」は197億円（前年同期比 23.0%減）、気管支喘息・アレルギー性鼻炎治療剤「オノンカプセル」は72億円（同比25.6%減）、糖尿病性神経障害治療剤「キネダック錠」は41億円（同比29.5%減）となりました。
- ・昨年12月にB細胞リンパ腫治療薬「ONO-4059」を米国ギリアド社に導出したことに伴い、受取ライセンス収入の一部を売上に計上しました。

## [営業利益]

営業利益は前年同期比91億円（35.6%）減少の165億円となりました。

- ・売上原価は前年同期比16億円（6.4%）増加の268億円となりました。
- ・研究開発費は前年同期比25億円（7.6%）減少の300億円となりました。
- ・販売費及び一般管理費（研究開発費を除く）は、当期新発売の「フォシーガ錠」「オブジーボ点滴静注」等に関する営業活動費用が大きく発生したことや市販後調査費用が増加し、前年同期比45億円（16.1%）増加の325億円となりました。
- ・その他の費用では、導入ライセンス契約の解約に伴う和解金などの計上により、前年同期比13億円（249.7%）増加の19億円となりました。

## [四半期利益]（親会社所有者帰属）

四半期利益は、税引前四半期利益の減少にともない、前年同期比42億円（21.0%）減少の157億円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

(資産、負債、資本およびキャッシュ・フローの状況に関する分析)

(連結財政状態)

(単位：百万円)

	2014年3月期 連結会計年度末	2015年3月期 第3四半期連結会計期間末	増減額
資産合計	486,141	505,630	19,489
親会社所有者帰属持分	447,327	459,370	12,043
親会社所有者帰属持分比率	92.0%	90.9%	
1株当たり親会社 所有者帰属持分	4,219.63円	4,333.32円	

資産合計は前期末に比べ195億円増加の5,056億円となりました。

流動資産は売上債権及びその他の債権の増加などがあったものの、現金及び現金同等物の減少などから44億円減少の1,911億円となりました。

非流動資産は繰延税金資産の減少などがあったものの、有形固定資産や無形資産、投資有価証券の増加などから239億円増加の3,145億円となりました。

負債は未払法人所得税やその他の流動負債の減少などがあったものの、仕入債務及びその他の債務やその他の金融負債の増加などから73億円増加の418億円となりました。

親会社所有者帰属持分は剰余金の配当による利益剰余金の減少などがあったものの、その他の資本の構成要素の増加があったことから120億円増加の4,594億円となりました。

(連結キャッシュ・フローの状況)

(単位：百万円)

	2014年3月期 第3四半期連結累計期間	2015年3月期 第3四半期連結累計期間	増減額
現金及び現金同等物の期首残高	89,117	104,898	
営業活動によるキャッシュ・フロー	17,145	7,121	△10,024
投資活動によるキャッシュ・フロー	7,127	△9,948	△17,076
財務活動によるキャッシュ・フロー	△19,036	△18,617	419
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	5,236	△21,444	
現金及び現金同等物に係る 為替変動による影響額	108	119	
現金及び現金同等物の期末残高	94,461	83,572	

当第3四半期の現金及び現金同等物の増減額は、214億円の減少となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期利益198億円、減価償却費及び償却費45億円、売上債権及びその他の債権の増加額158億円などがあり71億円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、投資の売却及び償還による収入168億円があり、一方では無形資産の取得による支出134億円、有形固定資産の取得による支出121億円などにより99億円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、主に配当金の支払いから186億円の支出となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の予想について、2014年11月5日に公表した業績予想を、下記のとおり修正します。

## 2015年3月期通期連結業績予想

(単位：百万円)

	売上収益	営業利益	税引前利益	当期利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的1株当たり当期利益
前回発表予想(A)	129,400	13,100	15,700	11,100	10,900	102.82円
今回修正予想(B)	137,000	15,100	17,700	12,200	12,000	113.20円
増減額(B-A)	7,600	2,000	2,000	1,100	1,100	
増減率(%)	5.9	15.3	12.7	9.9	10.1	
(ご参考)前期実績 (2014年3月期)	143,247	26,429	29,464	20,541	20,344	191.90円

前回発表時の売上予想には見込んでいなかったライセンス収入などを新たに織り込みました。一方で、今期中に予定していた年金制度変更の遅れから、過去勤務費用の減額を第4四半期に認識できなくなり、退職給付費用が増加することとなりました。以上のことから、今回、通期の業績予想を修正いたします。

なお、上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づき算出されたものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

当社グループの要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、以下の項目を除き、前連結会計年度に係る連結財務諸表において適用した会計方針と同一であります。

(会計方針の変更)

【新会計基準の適用の影響】

当社グループが第1四半期連結累計期間より適用している基準等は以下のとおりであります。

IFRS		新設・改訂の概要
IAS 第32号	金融商品：表示	金融資産と金融負債の相殺
IAS 第36号	資産の減損	非金融資産の回収可能価額の開示
IFRIC 第21号	賦課金	賦課金の会計処理の明確化

上記基準等は、それぞれの経過措置に準拠して適用しており、比較情報について遡及修正を行っております。

上記基準等の適用による要約四半期連結財務諸表への重要な影響はありません。

【棚卸資産の評価方法の変更】

棚卸資産の評価方法は、従来、主として先入先出法によっておりましたが、第1四半期連結累計期間より主として総平均法に変更しております。

この評価方法の変更は、当連結会計年度より新しい原価システムを導入し、棚卸資産の評価および期間損益計算をより迅速かつ適正にするために行ったものであります。

なお、この変更による影響額は軽微であるため、遡及修正は行っておりません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

## 3. 要約四半期連結財務諸表

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

	(単位：百万円)	
	前連結会計年度 (2014年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2014年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	104,898	83,572
売上債権及びその他の債権	42,240	58,058
有価証券	22,295	20,952
その他の金融資産	905	806
棚卸資産	24,261	26,354
その他の流動資産	958	1,403
流動資産合計	195,557	191,145
非流動資産		
有形固定資産	59,147	70,838
無形資産	22,690	34,120
投資有価証券	188,360	197,589
持分法で会計処理 されている投資	1,008	1,010
その他の金融資産	5,913	6,183
繰延税金資産	10,003	1,457
退職給付に係る資産	905	760
その他の非流動資産	2,559	2,527
非流動資産合計	290,585	314,485
資産合計	486,141	505,630



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2014年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2014年12月31日)
負債及び資本		
流動負債		
仕入債務及びその他の債務	11,288	18,644
借入金	508	321
その他の金融負債	846	5,107
未払法人所得税	4,303	3,275
引当金	1,063	924
その他の流動負債	10,264	7,058
流動負債合計	28,272	35,329
非流動負債		
借入金	468	337
その他の金融負債	17	21
退職給付に係る負債	3,945	4,409
引当金	87	87
繰延税金負債	1,002	954
その他の非流動負債	626	620
非流動負債合計	6,146	6,428
負債合計	34,418	41,757
資本		
資本金	17,358	17,358
資本剰余金	17,080	17,080
自己株式	△59,274	△59,297
その他の資本の構成要素	15,626	30,789
利益剰余金	456,537	453,440
親会社の所有者に 帰属する持分	447,327	459,370
非支配持分	4,397	4,503
資本合計	451,724	463,873
負債及び資本合計	486,141	505,630

## (2) 要約四半期連結損益計算書

	(単位：百万円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自 2013年4月1日 至 2013年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年12月31日)
売上収益	111,424	107,267
売上原価	△25,137	△26,753
売上総利益	86,288	80,513
販売費及び一般管理費	△28,010	△32,510
研究開発費	△32,462	△29,995
その他の収益	308	335
その他の費用	△534	△1,869
営業利益	25,590	16,474
金融収益	3,143	3,367
金融費用	△12	△55
持分法による投資損益	△5	12
税引前四半期利益	28,715	19,799
法人所得税	△8,682	△3,974
四半期利益	20,033	15,825
四半期利益の帰属：		
親会社の所有者	19,883	15,708
非支配持分	149	118
四半期利益	20,033	15,825
1株当たり四半期利益：		
基本的1株当たり四半期利益(円)	187.55	148.17
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	—	—

## (3) 要約四半期連結包括利益計算書

	(単位：百万円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自 2013年4月1日 至 2013年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年12月31日)
四半期利益	20,033	15,825
その他の包括利益：		
純損益に振り替えられることのない項目：		
その他の包括利益を通じて測定する 金融資産の公正価値の純変動	11,022	14,522
確定給付制度の再測定	319	379
持分法適用会社のその他の包括利益を 通じて測定する金融資産の公正価値の 純変動に対する持分	4	△4
純損益に振り替えられることのない 項目合計	11,346	14,898
純損益にその後に振り替えられる 可能性のある項目：		
在外営業活動体の換算差額	416	563
キャッシュ・フロー・ヘッジの 公正価値の純変動	41	△28
純損益にその後に振り替えられる 可能性のある項目合計	457	535
その他の包括利益合計	11,802	15,432
四半期包括利益合計	31,835	31,258
四半期包括利益合計の帰属：		
親会社の所有者	31,682	31,148
非支配持分	153	110
四半期包括利益合計	31,835	31,258

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2013年4月1日 至 2013年12月31日)

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分							資本合計
	資本金	資本 剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	利益 剰余金	親会社の 所有者に 帰属する 持分	非支配 持分	
2013年4月1日現在残高	17,358	17,080	△59,231	8,198	454,681	438,086	4,190	442,276
四半期利益					19,883	19,883	149	20,033
その他の包括利益				11,799		11,799	3	11,802
四半期包括利益合計	—	—	—	11,799	19,883	31,682	153	31,835
自己株式の取得			△28			△28		△28
剰余金の配当					△19,083	△19,083	△3	△19,086
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替				△318	318	—		—
所有者との取引合計	—	—	△28	△318	△18,765	△19,111	△3	△19,114
2013年12月31日現在残高	17,358	17,080	△59,259	19,679	455,799	450,657	4,340	454,997

当第3四半期連結累計期間(自 2014年4月1日 至 2014年12月31日)

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分							資本合計
	資本金	資本 剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	利益 剰余金	親会社の 所有者に 帰属する 持分	非支配 持分	
2014年4月1日現在残高	17,358	17,080	△59,274	15,626	456,537	447,327	4,397	451,724
四半期利益					15,708	15,708	118	15,825
その他の包括利益				15,440		15,440	△8	15,432
四半期包括利益合計	—	—	—	15,440	15,708	31,148	110	31,258
自己株式の取得			△23			△23		△23
剰余金の配当					△19,082	△19,082	△4	△19,086
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替				△277	277	—		—
所有者との取引合計	—	—	△23	△277	△18,805	△19,105	△4	△19,109
2014年12月31日現在残高	17,358	17,080	△59,297	30,789	453,440	459,370	4,503	463,873

## (5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：百万円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自 2013年4月1日 至 2013年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	28,715	19,799
減価償却費及び償却費	3,647	4,478
減損損失	1,901	559
受取利息及び受取配当金	△2,441	△2,397
支払利息	10	10
棚卸資産の増減額(△は増加)	△903	△2,091
売上債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△8,296	△15,812
仕入債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	2,897	4,646
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	401	385
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	757	812
その他	△1,178	△1,086
小計	25,510	9,303
利息の受取額	516	351
配当金の受取額	2,022	2,093
利息の支払額	△10	△10
法人所得税等の支払額	△10,893	△4,615
営業活動によるキャッシュ・フロー	17,145	7,121
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,917	△12,109
無形資産の取得による支出	△6,802	△13,420
投資の取得による支出	△27,221	△1,036
投資の売却及び償還による収入	44,324	16,814
その他	△256	△197
投資活動によるキャッシュ・フロー	7,127	△9,948
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△18,575	△18,174
非支配持分への配当金の支払額	△3	△4
長期借入金の返済による支出	△384	△372
短期借入金の純増減額	△47	△45
自己株式の取得による支出	△27	△22
財務活動によるキャッシュ・フロー	△19,036	△18,617
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	5,236	△21,444
現金及び現金同等物の期首残高	89,117	104,898
現金及び現金同等物に係る 為替変動による影響額	108	119
現金及び現金同等物の四半期末残高	94,461	83,572

## (6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

### (報告企業)

小野薬品工業株式会社(以下、当社)は日本国籍の株式会社であります。当社の登記している本社および主要な事業所の住所はホームページ(URL <http://www.ono.co.jp/>)で開示しております。

当社グループの要約四半期連結財務諸表は2014年12月31日を期末日とし、当社および子会社、並びに当社の関連会社に対する持分により構成されております。当社グループは、医療用、一般用医薬品の製造・販売を行っております。当社グループの事業内容および主要な活動は、「(6)要約四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報)」に記載しております。

### (要約四半期連結財務諸表の基礎)

#### (1) 準拠する会計基準

当社グループの要約四半期連結財務諸表は、四半期連結財務諸表規則第1条の2に掲げる「特定会社」の要件を満たすことから、同第93条の規定により、IFRSに準拠して作成しております。

要約四半期連結財務諸表はIAS第34号に準拠して作成しており、年度の連結財務諸表で要求される全ての情報を含んでおりません。要約四半期連結財務諸表は、2014年3月31日に終了した前連結会計年度の連結財務諸表と併せて利用されるべきものであります。

#### (2) 測定の基礎

要約四半期連結財務諸表は、公正価値で測定している金融商品などを除き、取得原価を基礎として作成しております。

#### (3) 機能通貨および表示通貨

当社グループの要約四半期連結財務諸表は、当社の機能通貨である日本円を表示通貨としており、特に注釈のない限り、百万円未満の端数を四捨五入して表示しております。

### (重要な会計方針)

重要な会計方針に関しては、「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更」をご覧ください。

なお、当第3四半期連結累計期間の法人所得税は、見積年次実効税率を基に算定しております。

### (重要な会計上の見積りおよび見積りを伴う判断)

当社グループの要約四半期連結財務諸表は、収益および費用、資産および負債の測定に関する経営者の見積りおよび仮定を含んでおります。これらの見積りおよび仮定は過去の実績および四半期決算日において合理的であると考えられる様々な要因などを勘案した経営者の最善の判断に基づいております。しかし、その性質上、将来において、これらの見積りおよび仮定とは異なる結果となる可能性があります。

見積りおよびその基礎となる仮定は経営者により継続して見直されております。これらの見積りおよび仮定の見直しによる影響は、その見積りおよび仮定を見直した期間およびそれ以降の期間において認識しております。

当社グループの要約四半期連結財務諸表で認識する金額に重要な影響を与える見積りおよび仮定は、原則として前連結会計年度と同様であります。

## (セグメント情報)

## (1) 報告セグメント

当社グループは「病気と苦痛に対する人間の闘いのために」という企業理念のもと、いまだ満たされない医療ニーズに応えるため、真に患者さんのためになる革新的な新薬の創製を目指し、医薬品事業(研究開発、仕入、製造、販売事業)の単一セグメントに経営資源を集中し事業を行っております。このため報告セグメント別の記載は省略しております。

## (2) 売上収益の内訳

売上収益の内訳は次のとおりであります。

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2013年4月1日 至 2013年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年12月31日)
製品商品売上収益		
循環呼吸器官系薬剤	48,012	38,680
代謝性薬剤	37,602	34,521
消化器官系薬剤	13,080	11,492
神経系薬剤	4,293	4,728
泌尿器官系薬剤	4,387	3,631
組織細胞機能用薬剤	—	1,300
化学療法、ホルモン剤他	689	640
その他薬剤	2,213	2,117
ロイヤルティ・その他の営業収益	1,149	10,157
合計	111,424	107,267

(注) 売上収益の内訳に関して、当第3四半期より金額的重要性が高まったため、ロイヤルティ・その他の営業収益を別途掲記しております。

## (3) 地域別情報

地域別売上収益の内訳は次のとおりであります。

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2013年4月1日 至 2013年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年12月31日)
製品商品売上収益		
日本	108,712	95,830
欧州	290	271
アジア	1,273	1,008
ロイヤルティ・その他の営業収益	1,149	10,157
合計	111,424	107,267

(注) 1 地域別情報に関して、当第3四半期より金額的重要性が高まったため、ロイヤルティ・その他の営業収益を別途掲記しております。

2 製品商品売上収益は販売仕向先の所在地によっております。

## (4) 主要な顧客に関する情報

主要顧客に対する売上収益の内訳は次のとおりであります。

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2013年4月1日 至 2013年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年12月31日)
㈱メディセオ	26,313	24,002
㈱スズケン	19,629	17,371
東邦薬品㈱	15,141	13,288
アルフレッサ㈱	13,302	10,733

(配当)

(1) 配当金支払額

前第3四半期連結累計期間

決議日	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2013年6月26日 定時株主総会	普通株式	9,541	90	2013年3月31日	2013年6月27日
2013年11月5日 取締役会	普通株式	9,541	90	2013年9月30日	2013年12月2日

当第3四半期連結累計期間

決議日	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2014年6月27日 定時株主総会	普通株式	9,541	90	2014年3月31日	2014年6月30日
2014年11月5日 取締役会	普通株式	9,541	90	2014年9月30日	2014年12月1日

(2) 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

前第3四半期連結累計期間

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間

該当事項はありません。

(1株当たり利益)

(1) 基本的1株当たり四半期利益は次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2013年4月1日 至 2013年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年12月31日)
基本的1株当たり四半期利益	187.55円	148.17円

(2) 基本的1株当たり四半期利益の算定上の基礎

基本的1株当たり四半期利益の算定上の基礎は次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2013年4月1日 至 2013年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年12月31日)
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	19,883百万円	15,708百万円
発行済普通株式の 加重平均株式数	106,015千株	106,010千株

なお、希薄化後1株当たり四半期利益については、希薄化効果を有する株式が存在しないため記載しておりません。

(後発事象)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。



4. 補足情報

(1) 主な製品の売上収益の実績と予想

(単位：億円)

製品名	平成26年度 第3四半期累計実績						平成26年度 通期予想			
	累 計 実 績				前年同期比		通期予想	前期比		
	4～6月	7～9月	10～12月		増減額	増減率		増減額	増減率	
グラクティブ錠	78	81	88	248	△40	△13.9%	320	△37	△10.3%	
オパルモン錠	65	63	69	197	△59	△23.0%	250	△75	△23.1%	
リカルボン錠	22	26	30	79	△3	△3.2%	115	+4	+3.6%	
オノンカプセル	25	20	27	72	△25	△25.6%	100	△35	△25.8%	
イメンド/プロイメンド	20	22	25	67	△0	△0.3%	90	+2	+2.8%	
リバスタッチパッチ	15	17	20	52	+5	+10.5%	70	+6	+9.5%	
フオイパン錠	17	15	17	49	△15	△23.5%	60	△20	△25.1%	
オノンドライシロップ	14	11	18	43	△9	△17.3%	60	△9	△13.0%	
ステーブラ錠	12	13	15	41	△8	△15.8%	55	△10	△15.5%	
注射用オノアクト	11	11	15	37	+3	+8.6%	50	+6	+14.1%	
キネダック錠	14	13	14	41	△17	△29.5%	50	△24	△32.6%	
オレンシア皮下注	5	10	14	29	+25	+681.0%	35	+27	+339.2%	
フォシーガ錠	12	0	1	13	(平成26年5月発売)		30			
注射用エラスポール	7	6	9	22	△6	△21.6%	25	△10	△29.1%	
オブジーボ点滴静注	—	3	12	15	(平成26年9月発売)		20			

(注) 仕切価格(出荷価格)ベースでの売上収益を開示しております。

## (2) 開発品 (ONO-4538を除く) の主な進捗状況

平成27年2月3日現在

### 1. 国内開発品状況

#### <申請中開発品>

製品名/開発コード	区分	予定効能/薬理作用	剤型	自社*/導入
オノアクト点滴静注用150 mg (ONO-1101)	剤型追加	手術時における頻脈性不整脈、 手術後の循環動態監視下における頻脈性不整脈、 心機能低下例における頻脈性不整脈 /β <sub>1</sub> 遮断作用(短時間作用型)	注射	自社
リバスタッチパッチ (ONO-2540)/ENA713D*1	用法変更	アルツハイマー型認知症 /コリンエステラーゼ阻害作用	経皮 吸収剤	導入 (ノバルティス社)

平成27年3月期第2四半期決算発表(11月5日)時点からの変更点

※1: リバスタッチパッチは、現在の用法・用量に1段階で維持量まで増量する用法・用量を追加する一部変更承認申請を行いました。

#### <臨床試験中開発品>

製品名/開発コード /一般名	区分	予定効能/薬理作用	剤型	フェーズ	自社*/導入
プロイメンド点滴静注用 (ONO-7847)/MK-0517	小児での 効能追加	抗悪性腫瘍剤投与に伴う悪心・嘔吐 /ニューロキニン1受容体拮抗作用	注射	Ⅲ	導入 (米メルク社)
オレンシア点滴静注用 (ONO-4164)/BMS-188667	効能追加	若年性特発性関節炎 /T細胞活性化抑制作用	注射	Ⅲ	導入 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社)
オレンシア点滴静注用 (ONO-4164)/BMS-188667	効能追加	ループス腎炎 /T細胞活性化抑制作用	注射	Ⅲ	導入 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社)
ONO-7057 /カルフィルゾミブ	新有効成分	多発性骨髄腫 /プロテアソーム阻害作用	注射	Ⅲ	導入 (オニキス社)
ONO-5163 /AMG-416	新有効成分	二次性副甲状腺機能亢進症 /カルシウム受容体作動作用	注射	Ⅲ	導入 (アムジェン社)
ONO-7643 /RC-1291	新有効成分	がん悪液質/グレリン様作用	錠	Ⅱ	導入 (ヘルシン社)
ONO-1162 /Ivabradine	新有効成分	慢性心不全/I fチャネル阻害作用	錠	Ⅱ	導入 (セルヴィエ社)
ONO-6950**2	新有効成分	気管支喘息 /ロイコトリエン受容体拮抗作用	錠	Ⅱ	自社
ONO-4053**3	新有効成分	アレルギー性鼻炎 /プロスタグランディンD2受容体 拮抗作用	錠	Ⅱ	自社
ONO-7056 /Salirasib	新有効成分	固形がん/Rasシグナル阻害作用	錠	I	導入 (カドモン社)
ONO-7268MX1	新有効成分	肝細胞がん/ペプチドワクチン	注射	I	導入 (オンコセラビー・ サイエンス株式会社)
ONO-7268MX2	新有効成分	肝細胞がん/ペプチドワクチン	注射	I	導入 (オンコセラビー・ サイエンス株式会社)
ONO-2160/CD	新有効成分	パーキンソン病 /レボドパプロドラッグ	錠	I	自社

製品名／開発コード ／一般名	区分	予定効能／薬理作用	剤型	フェーズ	自社*)／導入
ONO-2370 /Opicapone	新有効成分	パーキンソン病 ／長時間作用型COMT阻害作用	錠	I	導入 (ビアル社)
ONO-4059	新有効成分	B細胞リンパ腫 ／Bruton's tyrosine kinase (Btk) 阻害作用	カプセル	I	自社
ONO-5371**4 /metirosine	新有効成分	褐色細胞腫／チロシン水酸化酵素阻害作用	カプセル	I	導入 (バリアント社)

平成27年3月期第2四半期決算発表(11月5日)時点からの変更点

※2:ロイコトリエン受容体拮抗薬「ONO-6950」は、気管支喘息を対象としたフェーズII試験を開始しました。

※3:プロスタグランディンD2受容体拮抗薬「ONO-4053」は、アレルギー性鼻炎を対象としたフェーズII試験を開始しました。

※4:チロシン水酸化酵素阻害薬「ONO-5371」は、健康成人を対象としたフェーズI試験を開始しました。

**\*) : 共同研究により創出された化合物を含む**

なお、抗がん剤において、同じ予定効能(がん腫)の場合は、最も進んでいるフェーズ(臨床ステージ)を記載しております。

## 2. 国外開発品状況

### <臨床試験中開発品>

製品名／開発コード	区分	予定効能／薬理作用	剤型	フェーズ	地域	自社*)／導入
ONO-6950	新有効成分	気管支喘息 ／ロイコトリエン受容体拮抗作用	錠	II	米国	自社
ONO-4053	新有効成分	アレルギー性鼻炎 ／プロスタグランディンD2受容体 拮抗作用	錠	II	欧州	自社
ONO-2952	新有効成分	過敏性腸症候群／TSPO (トランスロケータープロテイン) 拮抗作用	錠	II	米国	自社
ONO-9054	新有効成分	緑内障・高眼圧症／プロスタグランディン 受容体(FP/EP3)作動作用	点眼	II	米国	自社
ONO-4059	新有効成分	B細胞リンパ腫 ／Bruton's tyrosine kinase (Btk) 阻害作用	カプセル	I	欧州	自社
ONO-8055	新有効成分	低活動膀胱／プロスタグランディン受容体 (EP2/EP3)作動作用	錠	I	欧州	自社
ONO-8539	新有効成分	胃食道逆流症／プロスタグランディン 受容体(EP1)拮抗作用	錠	I	欧州	自社
ONO-1266	新有効成分	門脈圧亢進症／S1P受容体拮抗作用	カプセル	I	米国	自社
ONO-4232	新有効成分	急性心不全／プロスタグランディン受容体 (EP4)作動作用	注射	I	米国	自社

**\*) : 共同研究により創出された化合物を含む**

なお、抗がん剤において、同じ予定効能(がん腫)の場合は、最も進んでいるフェーズ(臨床ステージ)を記載しております。

### (3) 開発品 (ONO-4538) の主な進捗状況

平成27年2月3日現在

#### 1. 国内開発品状況 ＜臨床試験中開発品＞

製品名／開発コード	予定効能	フェーズ	自社 <sup>*)</sup> /導入
オプジーボ点滴静注 (ONO-4538) /BMS-936558	腎細胞がん	Ⅲ	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	非小細胞肺癌	Ⅲ	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	頭頸部がん	Ⅲ	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	胃がん	Ⅲ	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	食道がん	Ⅱ	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	ホジキンリンパ腫 <sup>*1</sup>	Ⅱ	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)

平成27年3月期第2四半期決算発表 (11月5日) 時点からの変更点

※1: ホジキンリンパ腫を対象としたフェーズⅡ試験を開始しました。

**\*) : 共同研究により創出された化合物を含む**

なお、同じ予定効能 (がん腫) の場合は、最も進んでいるフェーズ (臨床ステージ) を記載しております。

#### 2. 国外開発品状況 ＜承認取得開発品＞

製品名／開発コード	予定効能	地域	自社 <sup>*)</sup> /導入
ONO-4538 /BMS-936558	悪性黒色腫 <sup>*2</sup>	米国	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)

平成27年3月期第2四半期決算発表 (11月5日) 時点からの変更点

※2: 米国において、イピリムマブでの治療後、かつ、BRAF V600変異陽性の場合は、BRAF阻害剤での治療後に病勢進行が認められた切除不能または転移性悪性黒色腫の効能にて医薬品承認を取得いたしました。

#### ＜申請中開発品＞

製品名／開発コード	予定効能	地域	自社 <sup>*)</sup> /導入
ONO-4538 /BMS-936558	非小細胞肺癌	欧米	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	悪性黒色腫	欧州	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	悪性黒色腫	韓国 台湾 <sup>*3</sup>	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)

<臨床試験中開発品>

製品名／開発コード	予定効能	フェーズ	地域	自社 <sup>*)</sup> ／導入
ONO-4538 /BMS-936558	腎細胞がん	Ⅲ	欧米	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	非小細胞肺癌	Ⅲ	韓国 <sup>※4</sup> 台湾	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	頭頸部がん	Ⅲ	欧米	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
		Ⅲ	韓国 <sup>※5</sup> 台湾	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	膠芽腫	Ⅲ	欧米	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	胃がん <sup>※6</sup>	Ⅲ	韓国 台湾	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	びまん性大細胞型B細胞リンパ腫	Ⅱ	欧米	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	濾胞性リンパ腫	Ⅱ	欧米	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	ホジキンリンパ腫	Ⅱ	欧米	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	固形がん(トリプルネガティブ乳がん, 胃がん, 膵がん, 小細胞肺癌, 膀胱 がん)	I/Ⅱ	欧米	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	大腸がん	I/Ⅱ	欧米	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	肝細胞がん	I	欧米	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	慢性骨髄性白血病	I	欧米	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	C型肝炎	I	欧米	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)

平成27年3月期第2四半期決算発表(11月5日)時点からの変更点

※3: 台湾において悪性黒色腫を対象とした製造販売承認申請を行いました。

※4: 韓国において非小細胞肺癌を対象としたフェーズⅢ試験を開始しました。

※5: 韓国において頭頸部がんを対象としたフェーズⅢ試験を開始しました。

※6: 韓国・台湾において胃がんを対象としたフェーズⅢ試験を開始しました。

**\*) : 共同研究により創出された化合物を含む**

なお、同じ予定効能(がん腫)の場合は、最も進んでいるフェーズ(臨床ステージ)を記載しております。